

世界にひらかれた日本語学の叡智

◆こんなにも面白い日本語の見方があったか！◆

デキゴトの叙述、 モノの叙述

2019

4月20日(土) 13:30-15:30

富山大学人文学部1階・大会議室

【講師】

益岡隆志教授

(関西外国語大学教授・神戸市外国語大学名誉教授)



専門：言語学、日本語文法論

略歴：1950年、岡山市生まれ。1976年、大阪外国語大学大学院修士課程修了。神戸市外国語大学名誉教授。現在、関西外国語大学教授
主著：『命題の文法』(1987)、『複文』(1997)、『日本語モダリティ探究』(2007)、『日本語構文意味論』(2013)、いずれも、くろしお出版。

【講演内容】

言語表現の基本は、「子供がにっこり笑った」のように出来事を叙述することと、「日本は島国だ」のように対象の特徴を叙述することである。これらの表現タイプを「事象叙述」・「属性叙述」と呼ぶ。本講演では、日本語を対象に事象叙述の表現と属性叙述の表現がどのように異なり、また、両者のあいだにどのような関係が見られるのかをめぐって考察する。

学内・学外を問わず、参加自由・無料

問い合わせ先◆呉人 恵 (富山大学人文学部言語学コース)

TEL 076-445-6169/FAX 076-445-6141

kurebito@hmt.u-toyama.ac.jp